

『SUNN-未来ウォーク』への要望」にお答え

先日の「散歩道」に、ご提案をいただきまし
私ども未来ウォーク実行委員会が開催する「『S
UNN-未来ウォーク』への要望」が掲載さ
れました。貴重なご提案をいただき、感謝申し上
げます。本日、ご回答致します。

コース途中のチェックポイントを増やして参加者ウォーカーに足を止めていただく機会を増やし、鳥取の風景を記憶にとどめてもらう仕掛けとすべき、との素晴らしい手法を前向きに検討致し

ご提案をいただきました。ぜひ参考にさせていただきます。ただし、例えば来年以降、コース内の名所・旧跡や観光施設などにて、セルフ式にスタンプを押せる無人の場所を設置する手法も含め、前向きに検討致します。

今大会からコーススタンプに工夫を、とのご提案には今後、コースごとにスタンプを変える、色を変えるなど、参加者の方々に満足してもらえる

ご提案を前向きに検討

ます。

またゴール後のIVV（国際市民スポーツ連盟）距離認定は今大会より、チェックポイントスタンプ押印の有無をスタッフにて確認する処理へ変更致します。

未来ウォークは、地域の皆さま500人によるボランティアスタッフに支えられて成り立っています。おかげさまで今年で13回目、県外からも200人以上お越しいただきます。今後もできる

限り参加者のご要望に沿えるよう、ウォークを通じて人と人がつながり、日本一記憶に残る大会となるよう、そして鳥取県ウォーキングリゾートの創造を目指して、地域を挙げておもてなしを差し上げます。

6月15、16日は、会場・倉吉パークスクエアにお出掛けください。地域の皆さまと共にお会いできることを楽しみにお待ちしております。

遠藤 公章（未来ウォーク実行委員会実行委員長）